

知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報

2009年の知多半島周辺におけるアカウミガメの産卵は、ほぼ平年並みの4例でした（図-1）。

うち2例は篠島前浜での産卵で、島民の方が孵化脱出する稚ガメを発見したことで産卵があったことがわかりました。

もう2例は、美浜町奥田（北奥田）海岸と南知多町内海つぶてヶ浦でしたが、つぶてヶ浦の産卵場所は砂浜の奥行きと高さが少ないため、まず同浜での移植を行ない、更に台風18号の接近で当園への一時避難を余儀なくされました。

毎年の事ですが、知多半島の砂浜では、産卵から孵化までの期間すべて自然で見守ることはなかなか難しいようです（写真-1～4）。

〔図-1〕 産卵地点



写真-1: 波がすぐ近くまで打ち寄せた最初の産卵場所（つぶてヶ浦）



写真-2: 移植した卵（つぶてヶ浦）



写真-3: 台風18号の接近（つぶてヶ浦）



写真-4: 台風通過後埋め戻し自然孵化に（つぶてヶ浦）

一方、北奥田の海岸は、ある程度高さのある場所で産卵したためそのまま見守る事ができ無事、自然のまま稚ガメたちが孵化脱出できたようです(写真-5)。

〔写真-5〕 孵化稚ガメの脱出後(北奥田)



その後調査したところ、孵化率92.7%と非常に高い値でした(写真-6)。

毎回お伝えしていますが、ウミガメの性別は、卵の時の砂の温度で決まります。

また、孵化脱出時も一定時間活力の高い時があり、仔ガメたちが生き残る(潮の流れに乗ったり、流れ藻にたどり着く)ための本能的行動と考えられています。移植するべきかそのまま見守るべきか。いつも自問自答して調査を行っています。

また、残念ながら死亡漂着は4例あり、種類はすべてアカウミガメでした(図-2) (写真-7～10)。

〔写真-6〕 孵化率調査(北奥田)



〔図-2〕 死亡漂着発見場所





〔写真-7〕 美浜町野間海岸



〔写真-8〕 美浜町小野浦海岸



〔写真-9〕 南知多町内海つぶてヶ浦



〔写真-10〕 南知多町内海お吉ヶ浜

今後も、記録を残して行くために皆さんからいただく情報がとても重要です。

産卵はもとより、足跡を見つけたり、死体が打ちあがっていた場合(知多半島周辺)でも是非、南知多ビーチランドまでご連絡ください。